

## 医療と福祉

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、神経精神科学講座、災害医学分野、衛生学公衆衛生学講座		
担当教員	相澤 文恵 准教授、藤澤 美穂 助教、八木 淳子 講師、高橋 栄子 非常勤講師、森谷 俊樹 非常勤講師、安田 敏明 非常勤講師、高橋 智幸 非常勤講師、眞瀬 智彦 教授、相馬 一二三 非常勤講師、最上 玲子 非常勤講師、久保田 美恵子 非常勤講師、佐々木 亮平 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

医療人を目指す立場から多角的に医療と福祉について考察する。福祉とは何かということ、行動社会学からみた福祉のありかた、法医学的観点による社会福祉論といった基本的なことから理解する。社会保障制度、障害者福祉、ソーシャルワークについて理解し、多職種連携（IPE）によるチーム医療・地域医療の実際について知見を深める。

### ・教育成果（アウトカム）

福祉の定義とその精神を理解することによって、自らの医療人イメージに福祉を組み込むことができる。また、わが国の社会保障制度、障がいの種類とそれぞれに必要なケアについて学修し、専門知識を学ぶ上での土台を形成する。さらに、地域包括ケアシステムの理念と医療現場における社会福祉の実際、地域社会・在宅医療の実際例を学修することによって、チーム医療実践の導入基盤が形成される。（ディプロマ・ポリシー：1,2,3）

### ・到達目標（SBO）

1. 福祉の倫理と意義について理解を深める。
2. 医療と福祉の密接なかわりについて理解を深める。
3. 現代社会における福祉制度と政策を理解する。
4. 地域包括ケアシステムについて理解する。
5. チーム医療における福祉の観点を理解する。
6. 地域医療における福祉の在り方の基本的なことから理解する。
7. 災害時医療における福祉の在り方の基本的なことから理解する。

## 【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/13	木	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	現代社会と福祉 (1) 1.福祉の理念について説明できる。 2.社会福祉の変遷について説明できる。
4/24	月	5	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	現代社会と福祉 (2) 1.身体障害、知的障害、精神障害について説明できる。 2.子どもへの福祉的支援について、今日までの経緯と現状を説明できる。 3.障がい児・者や子どもを支援する関係機関の役割を述べるができる。
5/1	月	3	神経精神科学講座	八木 淳子 講師	現代社会と福祉 (3) 1.発達障がいの種類と治療について説明できる。
5/11	木	2	教養教育センター	相馬 一二三 非常勤講師	現代社会と福祉 (4) 1.高齢者福祉について説明できる。
5/18	木	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	地域と福祉 (1) 1.病院におけるソーシャルワークについて説明できる。
5/25	木	2	教養教育センター	森谷 俊樹 非常勤講師	地域と福祉 (2) 1.地域包括ケアシステムについて説明できる。
6/1	木	2	教養教育センター	高橋 智幸 非常勤講師	地域と福祉 (3) 1.障害者を取りまく状況に関して今日までの経緯を学び、障害者への福祉制度の変遷と現状について説明できる。 2.障害者の相談支援について理解し、地域における支援に必要な視点と方法を述べるができる。

6/8	木	2	衛生学公衆衛生学講座	佐々木 亮平 助教	地域と福祉(4) 1.健康格差社会について説明できる。 2. 実例をもとにしてヘルスプロモーションについて説明できる。
6/15	木	2	災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	地域と福祉(5) 1.災害医療における福祉の役割について理解する。
6/22	木	2	教養教育センター	最上 玲子 非常勤講師	現代社会と福祉(5) 1.ボランティア活動の実態について説明できる。
6/29	木	2	教養教育センター	久保田 美恵子 非常勤講師	現代社会と福祉(6) 1.手話を用いた聴覚障がい者への支援について理解し、初歩的手話を実践できる。
7/7	金	5	教養教育センター	安田 敏明 非常勤講師	地域と福祉(7) 1.僻地医療・在宅医療の実際について説明できる。
7/13	木	2	教養教育センター	高橋 栄子 非常勤講師	地域と福祉(8) 1.訪問看護の実際について説明できる。
7/20	木	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	まとめ 1.医療人としての福祉への関わりかたについて説明できる。

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

受講態度 40%、課題への取り組み 60%によって評価する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認すること。オムニバス形式の講義から得た幅広い知識を身に着けるため、各回で振り返りシートを作成する。振り返りシート、提出課題は内容を評価して返却する。各授業に対する事前学修（予習・復習）の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC(dynabook R634/K)	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型 PC (HP Compaq Pro 633 SFF)	1	講義資料の作成
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	資料の提示